

E顔に、なるう。

上級〔総合土木〕編

愛媛県職員からの

メッセージ

令和2年度入庁の新規採用
職員の声を集めました。

愛媛県人事委員会事務局



令和2年度入庁の「総合土木」の 先輩職員に聞いてみました！



Q. 実際に働いてみて
どう感じている？



- ・セミナーや説明会で聞いていたとおり、工事の計画から完成まで携われることを実感しながら取り組んでいます。配属に関しては、大学で行っていた研究内容とは異なる分野への配属であったため、日々新しい知識を習得しているところです。
- ・業務内容や職場の雰囲気等は聞いていたイメージに近いと感じました。また、実際に働く中で、主体的に考え、解決する能力が強く求められている印象を受けた。
- ・仕事は覚えることが多く内容も難しいため疲れることもあるが、その分仕事後や休日は好きなことをしてリフレッシュできており、充実した日々を過ごすことができます。

仕事

Q. 職場の雰囲気は？



- ・当初思っていたより職場の雰囲気が堅くなく、フランクな感じで驚いた。
- ・分からないことを先輩職員に質問したら、他の先輩職員も補足情報などを教えてくださり、課全体でサポートしていただけています。
- ・他の部署と比較してもにぎやかで、熱量があると感じる。
- ・年の近い人が多く、相談のしやすい職場です。

環境

Q. やりがいを感じた
ことは？



- ・自身で工事の設計書を作成し、工事の監督業務を行い、最終的な構造物の完成まで見届けることができた瞬間は、とてもやりがいを感じることができました。
- ・災害復旧工事を担当し、査定から発注までを一通りやり遂げたことです。今後工事が着工し、完了したときにはより一層やりがいを感じると思います。
- ・水防当番の資料作成。マニュアル改訂に伴いまず自分が内容を把握しておく必要があること、災害発生時にも落ち着いて誰でも対応できるよう分かりやすい内容にすること等、時間をかけて行ったことでやりがいを感じた。

達成

Q. 一番苦労したことは？



理解

- ・業者が提出してくれた図面から必要数量を抜き取り、設計書を作成することに苦労した。設計書作成に伴い、適切な歩掛を選択するために積算基準などを一から調べていたので時間もかかり苦労したが、達成感も感じることができた。
- ・現場立会時に、施工業者の専門的な話を理解することが出来ないことに苦労しました。
- ・工事の図面作成や積算作業を行う際に使用するソフトが、慣れないソフトだったため、使い方を覚えるまで苦労した。
- ・大学で学んだ知識が実際の現場ではほとんど役に立たず、1から基準や法律を学ばなければいけなかったところは、苦労しました。

Q. 仕事をする上で心がけていることは？



- ・進捗管理を心掛けている。業務内容は多岐にわたるため、複数の業務を同時に遂行できるよう気を配っている。
- ・同じミスを繰り返さないようにすることです。そのために、メモなどにミスしたことをまとめていき、随時見返すようにしています。
- ・分からないところはできるだけ自分で正解まで近づけるよう、まずは自分で考えることを心がけており、どうしても理解できないときは上司に相談するようにしています。
- ・情報を正しく伝えるために、自分自身がきちんと整理して理解することを意識しています。

留意

Q. 当面の目標を教えてください！



前進

- ・同じ課の先輩が、業務を熟知しており分かりやすく教えてくださる上に業者との対応もスマートにこなされているので、自分も先輩のようになれることを目標としている。
- ・仕事のメインは工事の積算や監督業務なので、発注から精算まで上司の指示を受ける前から主体的に動いて、計画的に完了することを目指しています。
- ・特に設計書作成においては知れば知るほど疑問点が出てくるので、とにかく数をこなしてより多くの知識を身に付けていきたい。
- ・プライベートと仕事のバランスをうまく保ちながら、仕事でもプライベートでも常にコンディションを良くしておきたいです。

Q. 総合土木職の魅力や セールスポイントは？



- ・自分が担当した工事によって生活が豊かになる人がいたり、災害時に命を守ることができるようにもなったりと、人々の生活を陰ながら支えることができることが、総合土木の魅力だと感じています。
- ・総合土木は地域に密接にかかわる仕事が多いと思うので、工事が完了したときは地域の人たちが暮らしやすくなったことを身近で実感できます。
- ・愛媛県が掲げている政策の三本柱の一つである防災・減災対策に直結する仕事であるところです。また総合土木は農業土木と土木の二つの職種に分かれており、農業土木は老朽化の進んだ農業用施設の改修、また農家の方が使いやすいような施設改修などを行い、農業の発展に貢献できることが魅力です。
- ・事業規模が大きい工事に携わることができますし、何より自分が携わった成果が形として残ることが一番の魅力です。
- ・工事が完成させることで、以前よりも美しく、便利なインフラを県民に利用してもらうことが総合土木の魅力だと思う。

長所

Q. 県職員を目指す方へ、 アドバイスやメッセージを！



- ・民間企業の就職活動に比べると、公務員試験は長期戦に感じると思います。心が折れそうになる時もあるかもしれませんが、合格した後は多くの人からサポートを受け、愛媛県の土木を支える一人として必ず成長できると思います。一緒に働くことができる日を楽しみにしています！
- ・総合土木は第一次試験が専門試験のみと、教養試験がなくなった分、以前に比べると試験が受けやすくなっているので興味がある方はぜひ受験してみてください。
- ・どこに就職するか悩んだ時期が私もありましたが、非常に満足度の高い職場で働いていることを実感しており、県職員を選んで良かったと思っています。今は迷うことも多いと思いますが、最終的に県職員を選んでいただけたら嬉しいです！
- ・県民の方とも接する機会が多く、非常に仕事のやりがいを感じます。また、様々な職種の同期がいて今まで自分が知らなかった分野の知識を持つ人たちと交流ができ非常に楽しいです。公務員試験は長期戦で苦しくなるときもありますが、合格した後の自分を想像して頑張ってください。
- ・愛媛県のために働きたいという強い思い、責任感を持つ方と共に働くことを楽しみにしています。

希望